

医学研究センター

研究主任部門

池淵 研二

(部門長, 医学部 輸血・細胞移植部 教授)

人 事:

研究主任部門では副部門長として消化器肝臓病内科の持田先生(継続)に加えて, 新規に岡崎先生(ゲノム医学研究センター), 木崎先生(総合医療センター)に参加していただき活動内容を充実できるよう体制整備を行った。

企 画:

1. 研究者紹介ホームページ立ち上げの準備。

従来から懸案の研究者紹介ホームページを立ち上げるべく, 部門長である私の紹介文をホームページ用に記載して意見を求める作業を行った。内容としては, 1) 進路を選んだ背景, 2) 研究テーマ, 3) 留学経験, 4) 研究計画, 5) 業績などを散文風に記入して感想を求めてみた。残念ながら印象が悪かったのか, あまり意見をいただけなかったので再度検討している。研究者の人柄が推し量れるように, 趣味や座右の銘なども紹介していただければどうかという貴重な意見をもらったことは成果である。その他として特殊な実験手技を持っているかどうか・その教育を部外に対して行っていただけるかどうか・特殊な研究用機器を持っているかどうか・特殊な疾患モデル/動物系を持っているかどうか・他の学外の研究者と共同研究をしているか, なども貴重な情報源になるものと期待している。

もう一度研究者紹介ホームページを立ち上げる意義を部門会議で確認しあい, 掲載願う記事内容を決め, できれば雛形を研究主任メーリングリストで研究主任が自由に参加してもらい意見交換をして, 内容を決定していく予定である。

2. 研究発表会の企画。

多数の研究主任が3エリアに別れて勤務している現状では, 一同を会して参加してもらえる研究発表会を企画することはまだ実現できていない。目標としては1) 同じ疾患・領域・臓器を1回ずつテーマとして選び, 2) 基礎系から1~2名, 臨床系から1~2名に担当してもらい総合的に講演していただく研究発表会の企画を考えている。これにはテレビ会議形式をとるか, 中間的な場所として川越クリニックに一同が集まり, 熱のこもった講演会を企画するか, など実現に向け検討中である。

グラント部門および知財戦略研究推進部門が活動され, 研究資金獲得熱が高まってきている。そうした中で学内グラントが年10~15名の研究者に与えられ研究支援が順調に進められるようになった。成果の一部は埼玉医科大学雑誌で紹介していただけることになっているが, その成果を研究主任および研究員向けに発表していただけるような場を提供することも計画したいと考えている。

3. 研究費取得のための申請書を公開する企画。

学内・学外グラント申請書および科学研究費補助金申請書は研究者が提出時点では最高傑作として完成させた申請書であると考えている。そこで, 内容をそのまま公開できれば, これまで文章を書くことが億劫, 下手, 熱心でない, などのために申請すらしてこなかった研究員に対して模範を示し, それらを参考にして文章を書いてとまかく申請してみようかな, という気運を高める手助けにはなるのではないかと期待される。そこで昨年度の学内グラント申請者を対象に申請書を公開することについてアンケートを実施した。おおむね趣旨に賛同してもらい公開に対して賛成の回答が多かった。ただし知的財産の漏洩を回避するためには, 公開する箇所を限定すべきであると貴重な意見ももらった。知的財産管理の立場からすると, 研究テーマそれすらも知的財産であ

る可能性があるという意見もいただいた。そこで、過去の部分(これまでの研究成果, 研究の到達点, 研究を思いついた背景, 業績紹介)を中心に, 執筆を求める方向で再度部門会議に諮る予定である。